LH															
					,			<u> </u>					不具合整理	No. 44	C 07 01C
															F-07-015
					_ <u>E</u>	己臂耳	2 一一	小盒	通知				生產担当課	生産3課1	グループ
													生産担当者	佐	藤
				下記の製品	は得知	意先検査の)結果、7	「合格とな	よりました				発行日:		7. 18
				再発防止の							アネナハ				
	1			117007111-0	, and 7-1-2	# C HC/(V.							承認	確認	担当
	_						ġ	発生原因	: 生	産課 担当	2012年 7月2	25日 迄		海洋	CHAS
_	品	46-4	~~				%	充出原因	· #:	産課 担当	2012年7月2	26日 迄	127,18	12.7.18	12.7.18
丕	質	指疋凹	谷日:	2012年	7)	Ħ 30	н						映次	127.18	12: / 1 6
具	保						ž,	允出原因	: 業務グル	ープ 担当	2012年 7月30	0日 迄			
不具合内容	証	図番	163549-	7-01					写真・原	₹]				10000	NAME OF TAXABLE PARTY.
四	課	品名	D F 30 F	V (A) 端	子	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	┦ * ~ ~ ~	-				an dining	ingili (dicini
谷	記	ロットNo													30000
	入		 						4					AND THE OWNER.	
			1, 000, 0			-								100	T said the
		クレーム内容が	なび確認内容	}					╗						1
									1					31412	774
	ı	変形							ľ					in 183 9	
															-
														***	*** A
				発生原	因			-				発生対	倍		
	生産	課			-				(雑が いつ	までに何を、と	どうする)	<u> </u>	, A		
		- 生 休 見場現物現実の確認・加工状況・加工履歴・変化点の確認)													
	0 - 50 - 2	生産時異常は有りませんでした						1 +	ニョコル	うだのだ	ركم سيلا	154,4	K 1		
ı		<i> </i> #	光月光	正分	11 7	シニキ	サム フ	14	1 /2	こるとじ	1/50)/	3 /·	121/1/	世し	
		1	生一	チャ	0/1	7 / 4		~ ~	1		. 12-11.	1 11.07			
			•	•					1						
	(ナゼチ	発生したのかを3回	回繰り返して	具の発生原因を	掴む)										
									1						
									1						i
				Ţ											· ·
															l l
				1											
				T											
														r	
ĺ									対策実施日:	~ 年 —	月 ~ 日		承認	確認	担当
									対策実施ロットN	h	-				12.8.1
	不旦台	合ロット生産日: :	王一月一日	F I						水平展	期の有・(無) 品名又は図番を記	-	12.87		12.22.1
			T. //							の場合、対象製			12.01-1		TON
	金型番号:							(1 /	実施	道法			
	流出原因										流出対	第			
													<u> </u>		
# 2	生産	課							(誰が、いつ	までに何を、と	ごうする)				
起丨		課 現物現実の確認・	覆歴・変化点	(の確認)_			-		(誰が、いつ						: :::::
起			覆歴・変化点	の確認)	- 1.A. ~	t*.	41 -5	1 +	(誰が、いつ				<u> </u>		
起			覆歴・変化点	の確認)	12)	有りまっ	せんで	した	(誰が、いつ				174		
起因部署	(現場理	現物現実の確認・	司上	要常	14 /	有りまっ	せんで	した	(誰が、いつ		ing (ing ing ing ing ing ing ing ing ing ing		174		: \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
起因部署記	(現場理		司上	要常	「は / _{国む)}	なりまっ	せんで	した	(誰が、いつ						
起因部署	(現場理	現物現実の確認・	司上	要常	13 / 国む)	有りま	せんで	しな	(誰が、いつ						
起因部署記	(現場理	現物現実の確認・	司上	要常	13 /	有りま	thz*	しな	(誰が、いつ						
起因部署記	(現場理	現物現実の確認・	司上	要常	13 / 国む)	有りま	thz*	しな	(誰が、いつ						
起因部署記	(現場理	現物現実の確認・	司上	要常	13 / 国む)	有りまっ	thz*	しな	(誰が、いつ						
起因部署記	(現場理	現物現実の確認・	司上	要常	13 / _{国む)}	有りまっ	せんご	しな	対策実施日:					確認	相 坐
起因部署記	(現場理	現物現実の確認・	司上	要常	13 /	たりまつ	せんご	した。	対策実施日:	[6] <u> </u>	L. E		承認	確認	担当
起因部署記	(現場理	現物現実の確認・	司上	要常	「 は 」	有ります	thz*	した。	対策実施日: 対策実施ロットN	[6] <u> </u>	- Л — В	C.	承認	確認	***
起因部署記	(現場理	現物現実の確認・	司上	要常	13.7	有ります	thz*	した	対策実施日: 対策実施ロットN	[6] <u> </u>	- Л — В	C.	承認	確認	12.8.7
起因部署記	(現場理	現物現実の確認・	司上	要常	「 相む)	有ります	thz*	した	対策実施日: 対策実施ロットN	[6] <u> </u>	月 日 期の有 (即) 品名又は図番を配	ζ,	承認	確認	***
起因部署記入	(ナゼチ	現物現実の確認・ が発生したのかを3回	司上	要常	7 3 / 関む)	有ります	thz*	した	対策実施口: 対策実施ロットN (有	年 本 水平展開の場合、対象製	一月 日 明の有〈御〉 品名又は図番を記 /	C.	承認	確認	12.8.7
起因部署記入	は現場では、サゼダー・ログランドでは、サゼダー・ログランドでは、サゼダー・ログランドでは、サゼダー・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・	現物現実の確認・	局上 回繰り返して1	真の発生原因を打	「 1 ま) _{関む)}	たりまっ	thz	した	対策実施口: 対策実施ロットN (有	[6] <u> </u>	一月 日 明の有〈御〉 品名又は図番を記 /	ζ,	承認	確認	12.8.7
起因部署記入	は現場では、サゼダー・ログランドでは、サゼダー・ログランドでは、サゼダー・ログランドでは、サゼダー・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・	現物現実の確認・ 発生したのかを3回 発生したのかを3回 現物現実の確認・	(ラ)上の 回繰り返して引	真の発生原因を打	掴む)			Lt.	対策実施口: 対策実施ロットN (有	年 本 水平展開の場合、対象製	一月 日 明の有〈御〉 品名又は図番を記 /	ζ,	承認	確認	12.8.7
起因部署記入	は現場では、サゼダー・ログランドでは、サゼダー・ログランドでは、サゼダー・ログランドでは、サゼダー・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・	現物現実の確認・ 発生したのかを3回 発生したのかを3回 現物現実の確認・	(ラ)上の 回繰り返して引	真の発生原因を打	掴む)			しな	対策実施口: 対策実施ロットN (有	年 本 水平展開の場合、対象製	一月 日 明の有〈御〉 品名又は図番を記 /	ζ,	承認	確認	12.8.7
起因部署記入	は現場では、サゼダ は 現場では、 日本 の できまれる は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	現物現実の確認・ 発生したのかを3回 技術課 現物現実の確認・	「ら」上 回繰り返して引 で変化点	東の発生原因を打 中の発生原因を打 の確認) の確認) あ	関む)			しな	対策実施口: 対策実施ロットN (有	年 本 水平展開の場合、対象製	一月 日 明の有〈御〉 品名又は図番を記 /	ζ,	承認	確認	12.8.7
起因部署記入	は現場では、サゼダ は 現場では、 日本 の できまれる は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	現物現実の確認・ 発生したのかを3回 発生したのかを3回 現物現実の確認・	「ら」上 回繰り返して引 で変化点	東の発生原因を打 中の発生原因を打 の確認) の確認) あ	関む)			しな	対策実施口: 対策実施ロットN (有	年 本 水平展開の場合、対象製	一月 日 明の有〈御〉 品名又は図番を記 /	ζ,	承認	確認	12.8.7
起因部署記入	は現場では、サゼダ は 現場では、 日本 の できまれる は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	現物現実の確認・ 発生したのかを3回 技術課 現物現実の確認・	「ら」上 回繰り返して引 で変化点	東の発生原因を打 中の発生原因を打 の確認) の確認) あ	関む)			した	対策実施口: 対策実施ロットN (有	年 本 水平展開の場合、対象製	一月 日 明の有〈御〉 品名又は図番を記 /	ζ,	承認	確認	12.8.7
起因部署記入	は現場では、サゼダ は 現場では、 日本 の できまれる は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	現物現実の確認・ 発生したのかを3回 技術課 現物現実の確認・	「ら」上 回繰り返して引 で変化点	東の発生原因を打 中の発生原因を打 の確認) の確認) あ	関む)			した	対策実施口: 対策実施ロットN (有	年 本 水平展開の場合、対象製	一月 日 明の有〈御〉 品名又は図番を記 /	ζ,	承認	確認	12.8.7
起因部署記入	は現場では、サゼダ は 現場では、 日本 の できまれる は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	現物現実の確認・ 発生したのかを3回 技術課 現物現実の確認・	「ら」上 回繰り返して引 で変化点	東の発生原因を打 中の発生原因を打 の確認) の確認) あ	関む)			した	対策実施口: 対策実施ロットN (有	年 本 水平展開の場合、対象製	一月 日 明の有〈御〉 品名又は図番を記 /	ζ,	承認	確認	12.8.7
起因部署記入	は現場では、サゼダ は 現場では、 日本 の できまれる は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	現物現実の確認・ 発生したのかを3回 技術課 現物現実の確認・	「ら」上 回繰り返して引 で変化点	東の発生原因を打 中の発生原因を打 の確認) の確認) あ	関む)			した	対策実施口: 対策実施ロットN (有	年 本 水平展開の場合、対象製	一月 日 明の有〈御〉 品名又は図番を記 /	ζ,	承認	確認	12.8.7
起因部署記入	は現場では、サゼダ は 現場では、 日本 の できまれる は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	現物現実の確認・ 発生したのかを3回 技術課 現物現実の確認・	「ら」上 回繰り返して引 で変化点	東の発生原因を打 中の発生原因を打 の確認) の確認) あ	関む)			した	対策実施ロテトN(有((話性が、しいつ)	(CO) /	明の有(物) 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	ζ,	承 認 12.87 清秀		12.8.11 Talk
起因部署記入	は現場では、サゼダ は 現場では、 日本 の できまれる は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	現物現実の確認・ 発生したのかを3回 技術課 現物現実の確認・	「ら」上 回繰り返して引 で変化点	東の発生原因を打 中の発生原因を打 の確認) の確認) あ	関む)			した	対策実施口: 対策実施ロットN (有	年 本 水平展開の場合、対象製	一月 日 明の有〈御〉 品名又は図番を記 /	ζ,	承 認 12.87	確認	相当
起因部署記入	は現場では、サゼダ は 現場では、 日本 の できまれる は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	現物現実の確認・ 発生したのかを3回 技術課 現物現実の確認・	「ら」上 回繰り返して引 で変化点	東の発生原因を打 中の発生原因を打 の確認) の確認) あ	関む)			Lt	対策実施ロテトN(有((話性が、しいつ)	「「「「「「「「「「「」」」 本 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	明の有(物) 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	ζ,	承 認 12.87 清秀		担当
起因部署記入	は現場では、サゼダ は 現場では、 日本 の できまれる は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	現物現実の確認・ 発生したのかを3回 技術課 現物現実の確認・	「ら」上 回繰り返して引 で変化点	東の発生原因を打 中の発生原因を打 の確認) の確認) あ	関む)			しな	対策実施ロ: 対策実施IフトN (有 (証が、いつ) 対策実施ロ: 対策実施ロフトN	年本本本学展覧の場合、対象製造をでに何を、と	月 日 明の有 (棚) 品名又は190番を配 / / ごうする)	A) ×××	承 認 12.8:-7 清秀	確認	担当
起因部署記入	は現場では、サゼダ は 現場では、 日本 の できまれる は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	現物現実の確認・ 発生したのかを3回 技術課 現物現実の確認・	「ら」上 回繰り返して引 で変化点	東の発生原因を打 中の発生原因を打 の確認) の確認) あ	関む)			しな	対策実施ロ: 対策実施IフトN (有 (証が、いつ) 対策実施ロ: 対策実施ロフトN	年本本本学展覧の場合、対象製造をでに何を、と	月 日 明の有 (書) 番を配 / / ごうする) 日 明の有・無 番を配 A 又 は 図 番を配 A 又 は 図 番を配 A 又 は 図 本 配 A 又 は 図 本 配 A 又 は 図 本 配 A 又 は 図 本 配 A 又 は 図 本 配 A 又 は 図 か A 又 な な A 又 は 図 か A 又 な な A 又 な な A 又 な な A 又 な な A 又 な な A 又 な な A 又	A) ××××××××××××××××××××××××××××××××××××	承 認 12.87 清秀	確認 12.8.16	担当
起因部署記入	(現場を) は、	現物現実の確認・ 発生したのかを3回 税物現実の確認・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「ら」上 回繰り返して引 ・プロレン し 回繰り返して引	東の発生原因を計 → → ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	リナ [・] (国む)	せんで	t=0		対策実施ロ: 対策実施のする (有 (能が、いつ) 対策実施ロットN	年本本本の場合、対象製までに何を、となる。本文学を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	月 日 明の有 (静) 番を配 / / ごうする) 日 明の名又は図	入,实施	承 認 12.87 清充 12.8.17 智視	確認 12.8.16	担当
起因部署記入	(現場を) は、	現物現実の確認・ 発生したのかを3回 技術課 現物現実の確認・	「ら」上 回繰り返して引 で変化点	東の発生原因を計 → → ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	リナ [・] (国む)				対策実施ロ: 対策実施IフトN (有 (証が、いつ) 対策実施ロ: 対策実施ロフトN	年本本本学展覧の場合、対象製造をでに何を、と	月 日 明の有 (静) 番を配 / / ごうする) 日 明の名又は図	A) ××××××××××××××××××××××××××××××××××××	承 認 12.87 清秀	確認 12.8.16	担当
起因部署記入	(現場を) は、	現物現実の確認・ 発生したのかを3回 発生したのかを3回 発生したのかを3回 発生したのかを3回	(を) 上の ・変化点 ・変化点 ・変化点 ・変化点 ・変化点 ・変化点 ・変化点 ・変化点 ・変化点 ・変化点	東の発生原因を計 中の確認的 よの あまり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり	リナ [・] (国む)	せんで	たの	工程	対策実施ロ: 対策実施のする (有 (能が、いつ) 対策実施ロットN	年の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書のは、本文書の	明の有・無の有・無の有・無の有・無の者とは図書・/	入,实施	承 認 12.8.17 看 認	確 認 12.8.16 コぞの他	担当
起因部署記入	(現場でする) おおおお おおおお はいまし おおいま はいまし はいまし はいまし はいまし はいまし はいまし はい	現物現実の確認・ 発生したのかを3回 発生したのかを3回 発生したのかを3回 発生したのかを3回	(ラ)上の (最終)返して (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の)	東の発生原因を対する。 東の発生原因を対する。 のでは、主原因を対する。 東の発生原因を対する。 東の発生原因を対する。 東の発生原因を対する。 東の発生原因を対する。 東の発生原因を対する。 東の発生原因を対する。 東の発生原因を対する。 東の発生原因を対する。 東の発生原因を対する。 東の発生原因を対する。 東の表対のでは、 東の表対のでは、 東の表対のでは、 東の表が、 東の表対のでは、 東の表対のでは、 東の表対のでは、 東の表対のでは、 東の表対のでは、 東の表対のでは、 東の表が、 東のまで、 まのまで まのまで まのまで まのまで まのまで まのまで まのまで まのまで まのまで まのまで ま	リナ [・] (国む)	せんで せんで 承 認	たの		対策実施ロ: 対策実施のする (有 (能が、いつ) 対策実施ロットN	年本本本の場合、対象製までに何を、となる。本文学を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	明の有・無の有・無の有・無の有・無の者とは図書・/	入,实施	承 認 12.8.17 看 認	確認 12.8.16	担当
起因部署記入	品現 ナゼダ 原因	現物現実の確認・ 発生したのかを3回 現物現実の確認・ 現物現実の確認・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	一日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日	東の発生原因を計 の配記がより、原因を計 のこの発生原因を計	リナ [・] (間む)	せんで	検査	工程	対策実施ロ: 対策実施のする (有 (能が、いつ) 対策実施ロットN	年の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書のは、本文書の	明の有・無の有・無の有・無の有・無の者とは図書・/	入,实施	承 認 12.8.17 看 認	確 認 12.8.16 コぞの他	担当
起因部署記入	品現 ナゼダ 原因	現物現実の確認・ 発生したのかを3回 現物現実の確認・ 現物現実の確認・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	一日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日	東の発生原因を計 の配記がより、原因を計 のこの発生原因を計	リナ [・] (間む)	□材料 承 認 12.8.28	一検査 確	工程	対策実施ロ: 対策実施のする (有 (能が、いつ) 対策実施ロットN	年の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書のは、本文書の	明の有・無の有・無の有・無の有・無の者とは図書・/	入,实施	承 認 12.8.17 看 認	確 記 12.8.16 図その他	担当
起因部署記入	日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	現物現実の確認・ 技術現実の確認・ 投物現実の確認・ 対象 を対したのかを3回 を対したのかを3回 を対したのかを3回	を上で記録り返して記録を をかして記録を ではないでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	、真の発生原因を 対 の 一 の で の 一 の で の 一 の で の 一 の の 一 の も の に の も の に の も の に の も の に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	型 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	□材料 承 記 2 8 12 8 2 8 2 8 2 8 2 8 2 8 2 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	□検査 確 12.8	工程 認 28	対策実施ロ: 対策実施ロットN (有 (能が、いつ) 対策実施ロットN 対策実施ロットN	年の場合、との場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の関連を表現の場合の性の	明の有・無の有・無の有・無の有・無の者とは図書・/	入,实施	承 認 12.8.17 看 認	確 記 12.8.16 図その他	担当
起因部署記入	日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	現物現実の確認・ 技術現実の確認・ 投物現実の確認・ 対象 を対したのかを3回 を対したのかを3回 を対したのかを3回	を上で記録り返して記録を をかして記録を ではないでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	、真の発生原因を 対 の 一 の で の 一 の で の 一 の で の 一 の の 一 の も の に の も の に の も の に の も の に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	型 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	□材料 承 記 2 8 12 8 2 8 2 8 2 8 2 8 2 8 2 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	□検査 確 12.8	工程 認 28 子	対策実施ロ: 対策実施ロテトN (在が、いつ) 対策実施ロテトN 対策実施ロテトト (ではなが、いつ)	年の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書の場合、となる。本文書のは、本文書の	明の有・無の有・無の有・無の有・無の者とは図書・/	入 xxx 理· 仕様	承 認 12.87 清秀	確 認 128.16 ゴその他 確 認	担当 128.18
起因部署記入	日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	現物現実の確認・ 技術現実の確認・ 投物現実の確認・ 対象 を対したのかを3回 を対したのかを3回 を対したのかを3回	を上で記録り返して記録を をかして記録を ではないでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	、真の発生原因を 対 の 一 の で の 一 の で の 一 の で の 一 の の 一 の も の に の も の に の も の に の も の に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	型 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	□材料 承 記 2 8 12 8 2 8 2 8 2 8 2 8 2 8 2 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	□検査 確 12.8	工程 認 28	対策実施ロ: 対策実施ロテトN (在が、いつ) 対策実施ロテトN 対策実施ロテトト (ではなが、いつ)	年の場合、との場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の関連を表現の場合の性の	明の有・無の有・無の有・無の有・無の者とは図書・/	入 xxx 理· 仕様	承 認 12.8.17 看 認	確 認 128.16 ゴその他 確 認	担当
起因部署記入	日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	現物現実の確認・ 発生したのかを3回 現物現実の確認・ 現物現実の確認・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	を上で記録り返して記録を をかして記録を ではないでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	、真の発生原因を 対 の 一 の で の 一 の で の 一 の で の 一 の の 一 の も の に の も の に の も の に の も の に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	型 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	□材料 承 記 2 8 12 8 2 8 2 8 2 8 2 8 2 8 2 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	□検査 確 12.8	工程 認 28 子	対策実施ロ: 対策実施ロテトN (在が、いつ) 対策実施ロテトN 対策実施ロテトト (ではなが、いつ)	年の場合、との場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の場合の関連を表現の場合の性の	明の有・無の有・無の有・無の有・無の者とは図書・/	入 xxx 理· 仕様	承 認 12.87 清秀	確 認 128.16 ゴその他 確 認	担当 128.18